

「公共交通機関利用時の配慮に関する世論調査」の概要

令和3年1月
内閣府政府広報室

調査対象	全国の日本国籍を有する18歳以上の者3,000人 有効回収数2,015人（回収率67.2%）
調査期間	令和2年10月1日～11月15日
調査方法	郵送法
調査目的	公共交通機関利用時の配慮に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 優先席 2 多機能トイレ 3 ベビーカー 4 心のバリアフリー
調査実績	「ベビーカーマークに関する世論調査」（平成27年12月）
その他	1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象者の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。 2 平成27年12月調査は調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和2年10月調査との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、28年度以降は18歳以上の者を対象に実施している。 3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 優先席

(1) 席を譲ろうと思うか

問1 あなたは、電車やバスなどの公共交通機関の優先席に座っているときに、高齢者、障害者、妊産婦など優先席を必要とする方が近くにいることに気づいたら席を譲ろうと思いますか。
 (〇は1つ)

令和2年10月

譲ろうと思う (小計)

72.0%

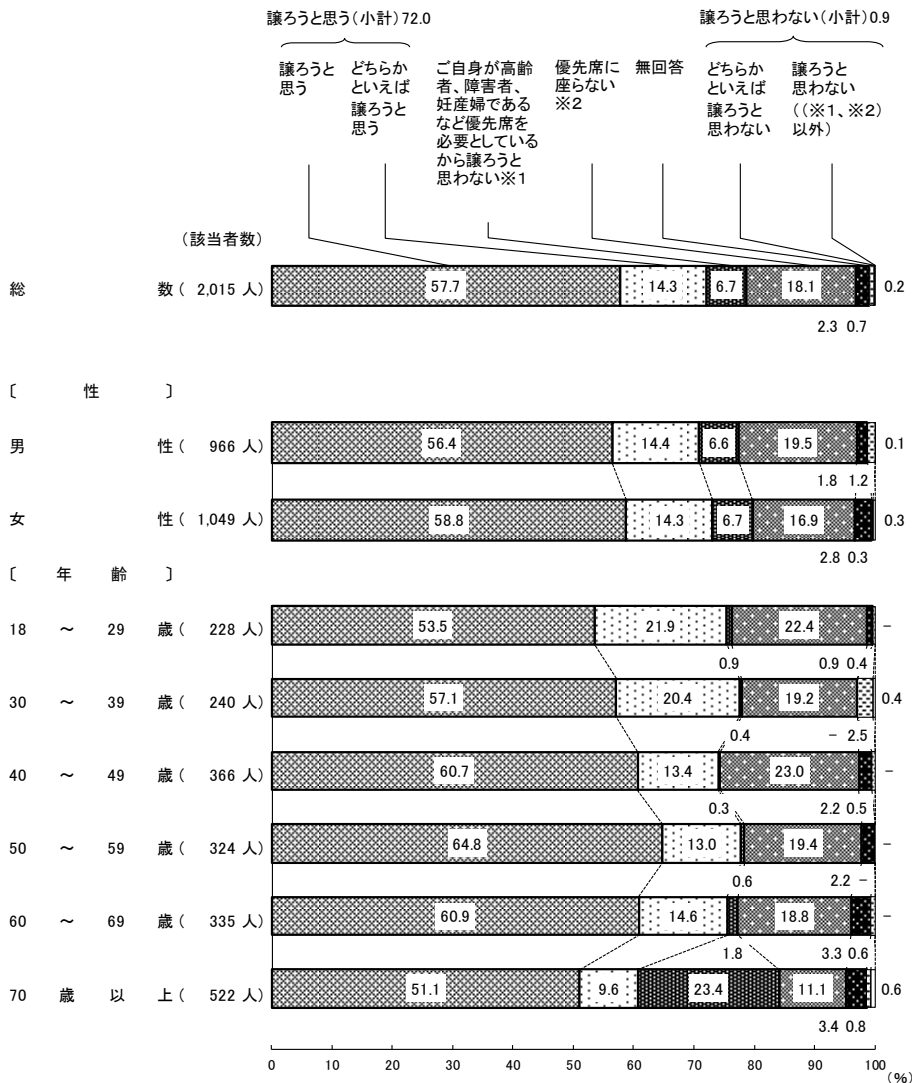
- ・ 譲ろうと思う 57.7%
- ・ どちらかといえば譲ろうと思う 14.3%

譲ろうと思わない (小計)

0.9%

- ・ どちらかといえば譲ろうと思わない 0.7%
- ・ 譲ろうと思わない (※1、※2)以外 0.2%

- ・ ご自身が高齢者、障害者、妊産婦であるなど優先席を必要としているから譲ろうと思わない ※1 6.7%
- ・ 優先席に座らない ※2 18.1%



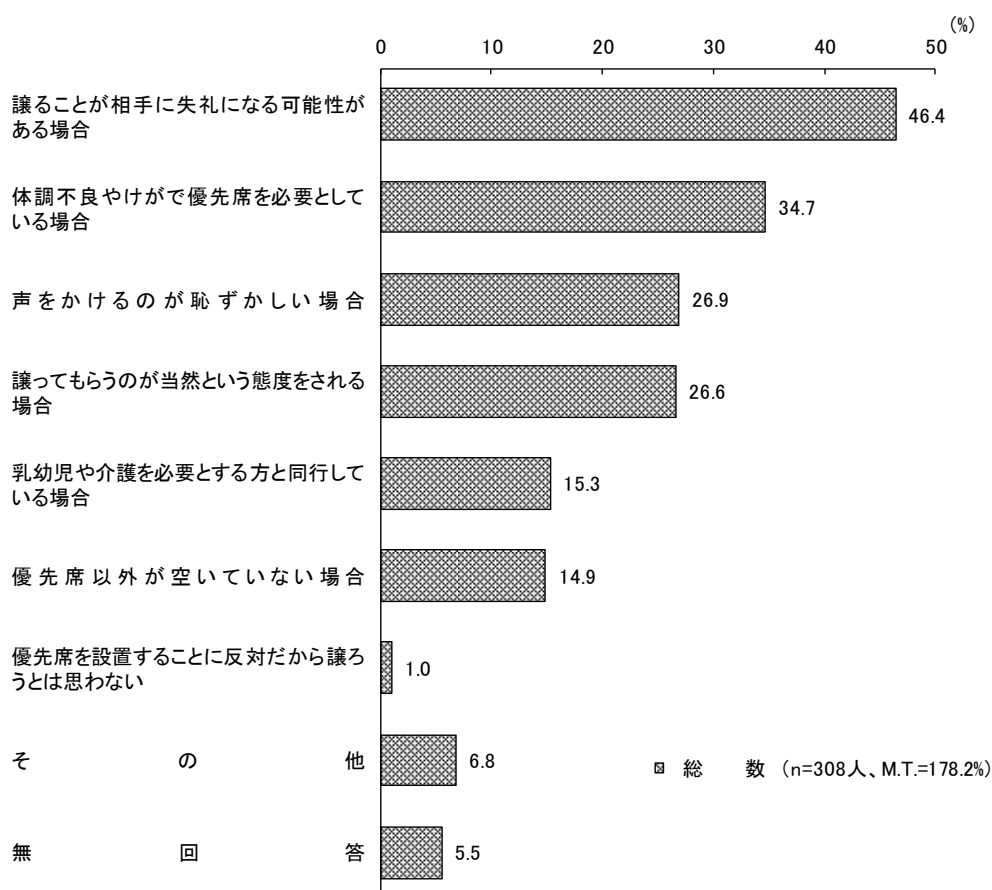
(2) 譲ろうと思わない場合

(問1で「どちらかといえば譲ろうと思う」、「どちらかといえば譲ろうと思わない」、「譲ろうと思わない(※1、※2以外)」と答えた方(308人)への質問)
問2 譲ろうと思わないのはどのような場合ですか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
 令和2年10月

- ・ 譲ることが相手に失礼になる可能性がある場合 46.4%
- ・ 体調不良やけがで優先席を必要としている場合 34.7%
- ・ 声をかけるのが恥ずかしい場合 26.9%
- ・ 譲ってもらうのが当然という態度をされる場合 26.6%

公共交通機関の優先席に座っているときに、優先席を必要とする方が近くにいることに気づいたら席を「どちらかといえば譲ろうと思う」、「どちらかといえば譲ろうと思わない」、「譲ろうと思わない(※1、※2以外)」と答えた者に、複数回答
 ※1：ご自身が高齢者、障害者、妊産婦であるなど優先席を必要としているから譲ろうと思わない
 ※2：優先席に座らない



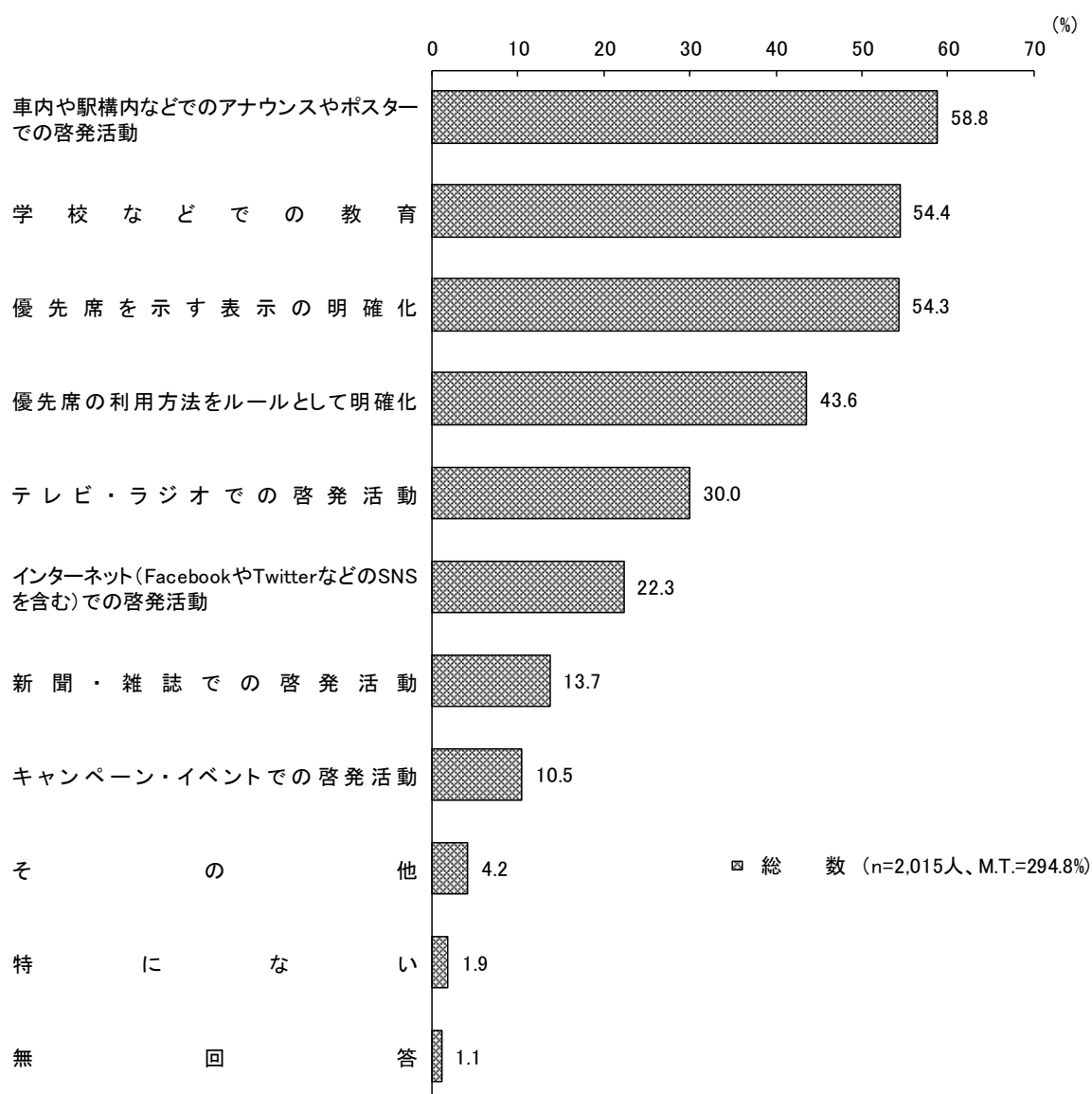
(3) 利用しやすくするための取組

問3 あなたは、高齢者、障害者、妊産婦など必要とする方が優先席を利用しやすくするために、どのような取組が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
令和2年10月

- ・ 車内や駅構内などでのアナウンスやポスターでの啓発活動 58.8%
- ・ 学校などでの教育 54.4%
- ・ 優先席を示す表示の明確化 54.3%
- ・ 優先席の利用方法をルールとして明確化 43.6%

(複数回答)



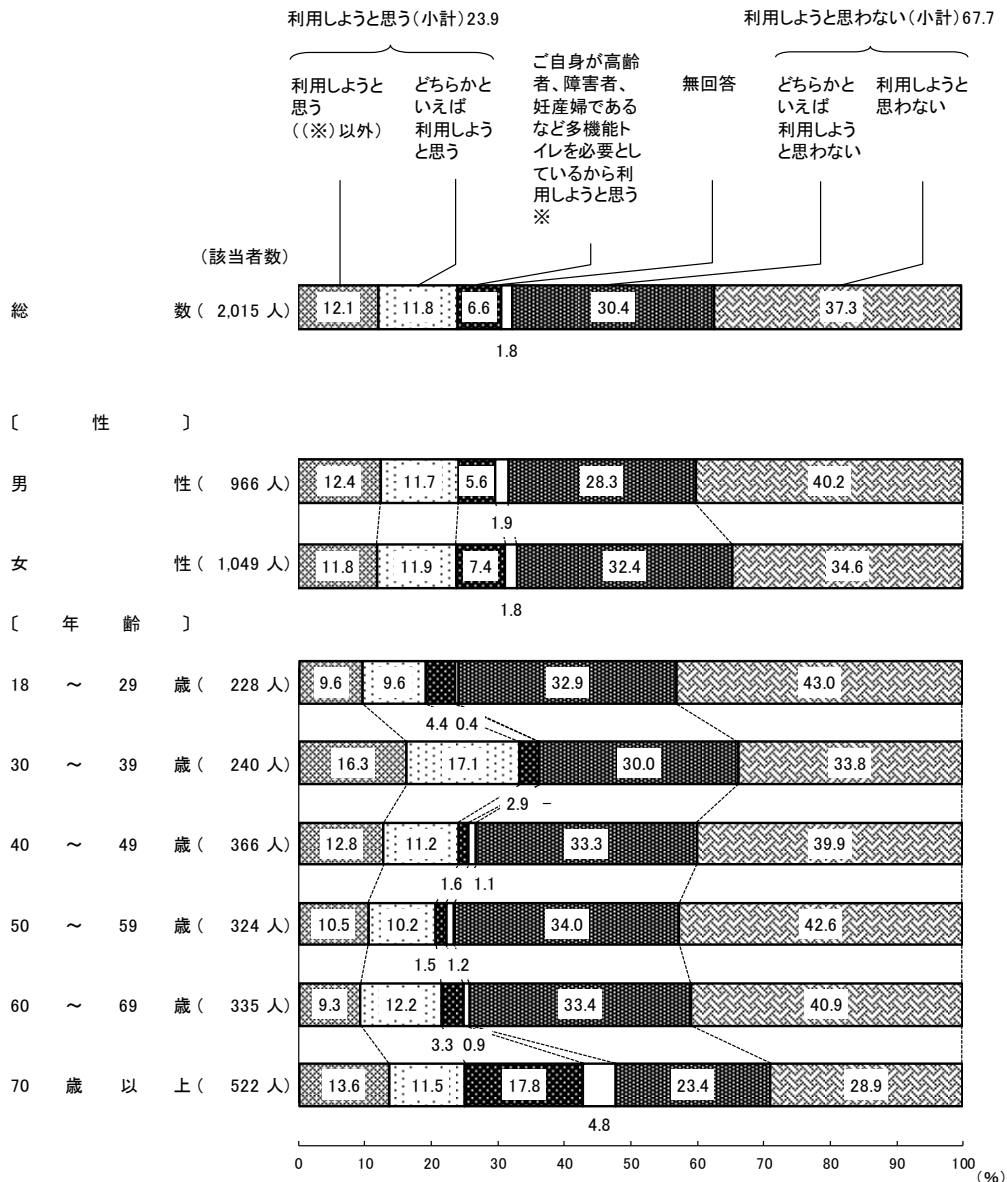
2 多機能トイレ

(1) 利用しようと思うか

(資料1を提示して、調査対象者に読んでもらってから質問)
問4 あなたは、トイレを使用するときに、多機能トイレを利用しようと思いますか。(〇は1つ)

令和2年10月

利用しようと思う (小計)	23.9%
・利用しようと思う ((※)以外)	12.1%
・どちらかといえば利用しようと思う	11.8%
利用しようと思わない (小計)	67.7%
・どちらかといえば利用しようと思わない	30.4%
・利用しようと思わない	37.3%
・ご自身が高齢者、障害者、妊産婦であるなど多機能トイレを必要としているから利用しようと思う ※	6.6%



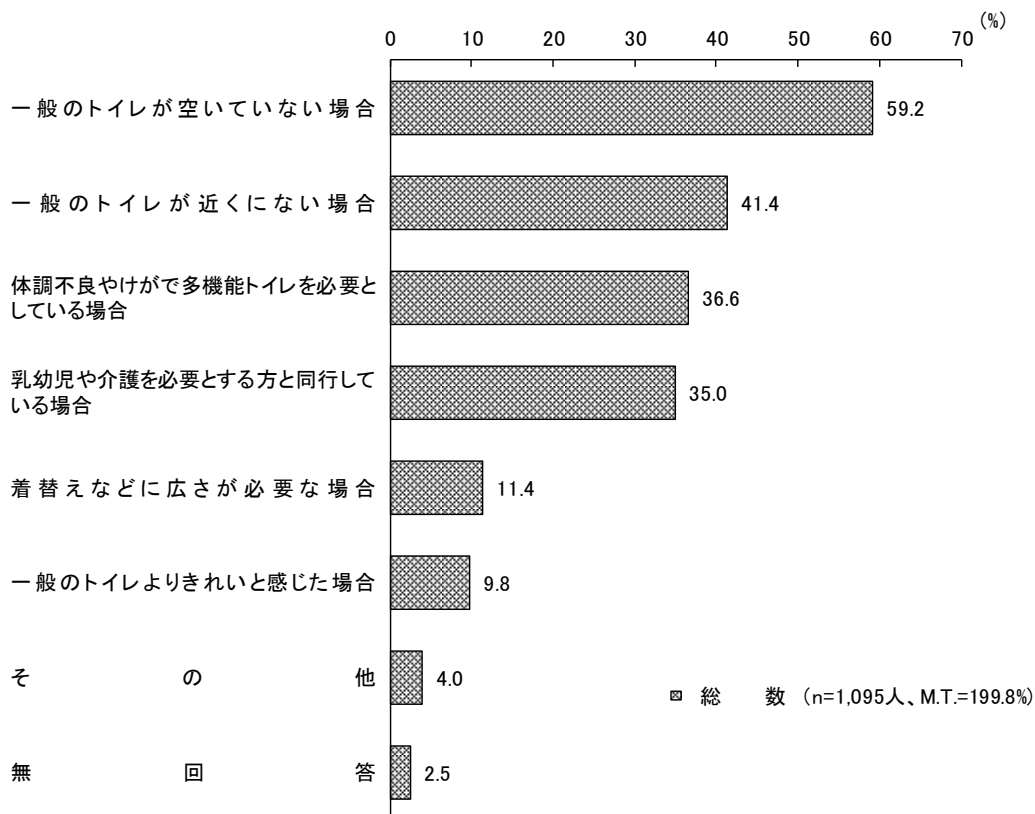
(2) 利用しようと思う場合

(問4で「利用しようと思う(※)以外」、「どちらかといえば利用しようと思う」、「どちらかといえば利用しようと思わない」と答えた方(1,095人)への質問)
問5 利用しようと思うのはどのような場合ですか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
 令和2年10月

- ・ 一般のトイレが空いていない場合 59.2%
- ・ 一般のトイレが近くにない場合 41.4%
- ・ 体調不良やけがで多機能トイレを必要としている場合 36.6%
- ・ 乳幼児や介護を必要とする方と同行している場合 35.0%

トイレを使用するときに、多機能トイレを「利用しようと思う(※)以外」、「どちらかといえば利用しようと思う」、「どちらかといえば利用しようと思わない」と答えた者に、複数回答
 ※：ご自身が高齢者、障害者、妊産婦であるなど多機能トイレを必要としているから利用しようと思う



(3) 利用しやすくするための取組

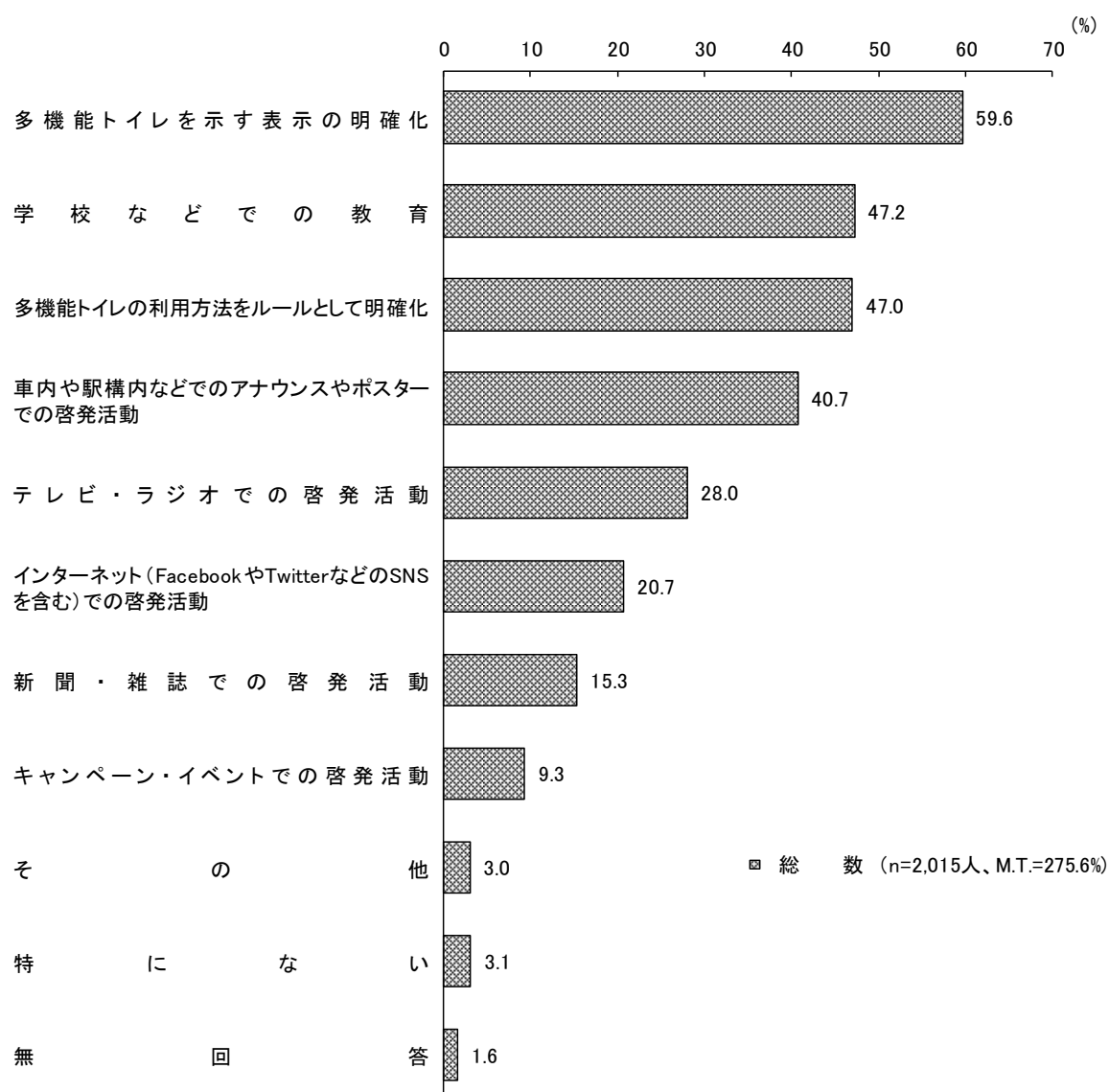
問6 あなたは、高齢者、障害者、妊産婦など必要とする方が多機能トイレを利用しやすくするために、どのような取組が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)

令和2年10月

- ・多機能トイレを示す表示の明確化 59.6%
- ・学校などでの教育 47.2%
- ・多機能トイレの利用方法をルールとして明確化 47.0%
- ・車内や駅構内などでのアナウンスやポスターでの啓発活動 40.7%

(複数回答)



3 ベビーカー

(1) ベビーカーマークの認知度

(資料2を提示して、調査対象者に読んでもらってから質問)
問7 あなたは、「ベビーカーマーク」を知っていましたか。(○は1つ)

令和2年10月

見た、知っていた (小計)

・見たことがあります、内容まで知っていた	23.9%
・見たことはないが、内容は知っていた	10.3%
・見たことはあるが、内容は知らなかった	22.6%
・見たことはないし、内容も知らなかった	42.6%

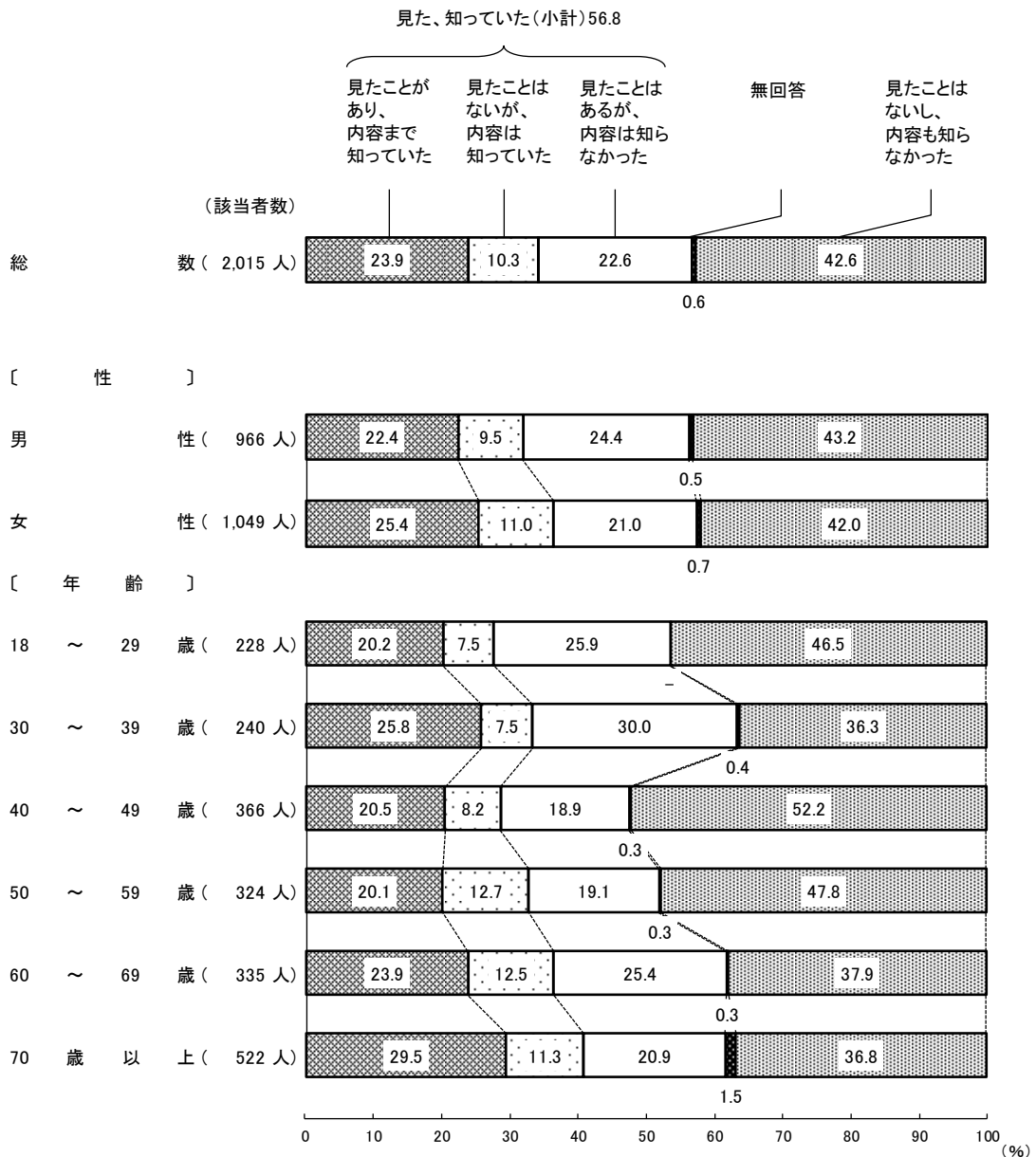


表7-参考 ベビーカーマークの認知度

	該 当 者 数	見 た 、 知 っ て い た (小計)	見 た こ と が あ り 、 内 容 ま で	見 た こ と は な い が 、 内 容 は	見 た こ と は あ る が 、 内 容 は 知 ら な か つ た	見 た こ と は な い し 、 内 容 も 知 ら な か つ た	わ か ら な い
			%	%	%	%	%
平成27年12月調査	人 1,653	% 52.6	% 24.9	% 9.6	% 18.1	% 45.9	% 1.5

(注) 平成27年12月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。また、平成27年12月調査は資料の画像をカラーで提示している。

(2) ベビーカーマークを知った経緯

(問7で「見たことがあり、内容まで知っていた」、「見たことはないが、内容は知っていた」、「見たことはあるが、内容は知らなかった」と答えた方(1,145人)への質問)
問8 あなたは、どこで「ベビーカーマーク」を見たり、知ったりしましたか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
 令和2年10月

・電車やバスなどの公共交通機関	57.5%
・公共施設や行政機関	42.9%
・病院などの医療機関	26.7%
・商業施設や飲食店	22.1%

ベビーカーマークを「見たことがあり、内容まで知っていた」、「見たことはないが、内容は知っていた」、「見たことはあるが、内容は知らなかった」と答えた者に、複数回答

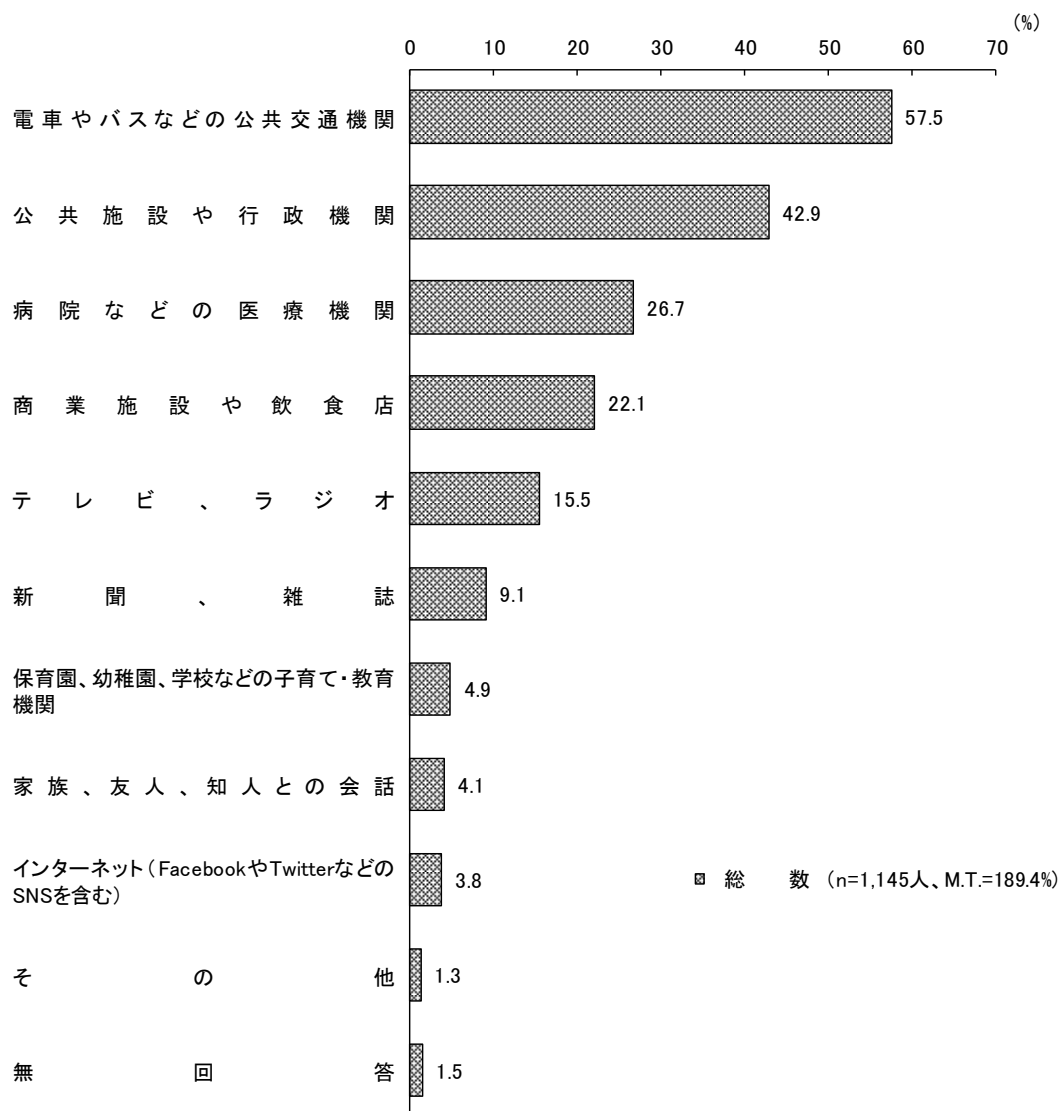


表8-参考 ベビーカーマークを知った経緯

ベビーカーマークを「見たことがあり、内容まで知っていた」、「見たことはないが、内容は知っていた」、「見たことはあるが、内容は知らなかった」と答えた者に、複数回答

	該 当 者 数	電 車 や バ ス な ど の 公 共 交 通 機 関	公 共 施 設 や 行 政 機 関	テ レ ビ 、 ラ ジ オ	病 院 な ど の 医 療 機 関	商 業 施 設 や 飲 食 店	新 聞 、 雑 誌	イン ター ネ ット (フ ェ イ ス ブ ッ ク や ツ イ ッ タ ー ビ ス (S N S) を 含 む)	保 育 園 、 幼 稚 園 、 学 校 な ど の 子 育 て ・ 教 育 機 関	家 族 、 友 人 、 知 人 と の 会 話	そ の 他	思 い 出 せ な い ・ わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成27年12月調査	870	47.7	32.4	31.7	18.0	13.6	10.1	6.6	4.3	3.1	0.8	6.7	174.9

(注) 平成27年12月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(3) ベビーカー使用者の気遣い

問9 あなたは、電車やバスなどの車内やエレベーターでベビーカーを使用している人が、周囲の人や通行者と接触したり、妨げになったりしないようにするなど、周囲に気遣いをしていると思いますか。(〇は1つ)

令和2年10月

そう思う (小計)	87.6%
・そう思う	41.8%
・どちらかといえばそう思う	45.8%
そう思わない (小計)	11.4%
・どちらかといえばそう思わない	8.6%
・そう思わない	2.8%

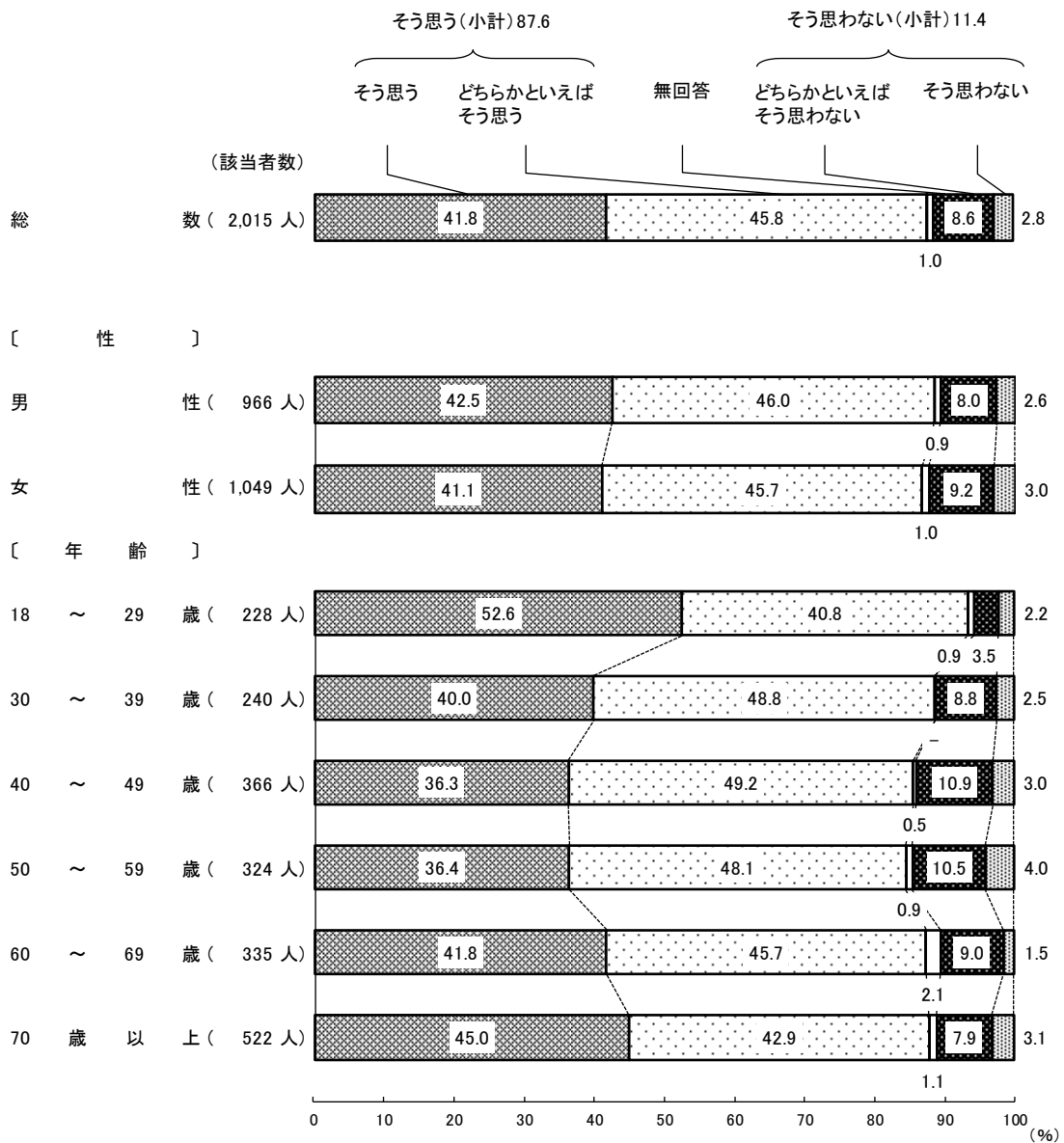


表9-参考 ベビーカー使用者の気遣い

	該 当 者 数	そ う (思 小 計) う	そ		そ う 思 (わ 小 計) い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い		そ う 思 わ な い	わ か ら な い
			う 思	う 思 う		う 思 わ な い	う 思 わ な い		
平 成 27 年 12 月 調 査	人	%	%	%	%	%	%	%	%
	1,653	69.7	31.8	37.9	19.4	12.8	6.7	10.9	

(注) 平成27年12月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(4) 周囲の人の許容度

問 10 あなたは、電車やバスなどの車内やエレベーターで、原則としてベビーカーを折りたたまずに使用できることについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

令和2年10月

賛成 (小計)

- ・ 賛成
- ・ どちらかといえば賛成

90.7%

55.6%

35.1%

反対 (小計)

- ・ どちらかといえば反対
- ・ 反対

7.9%

6.2%

1.8%

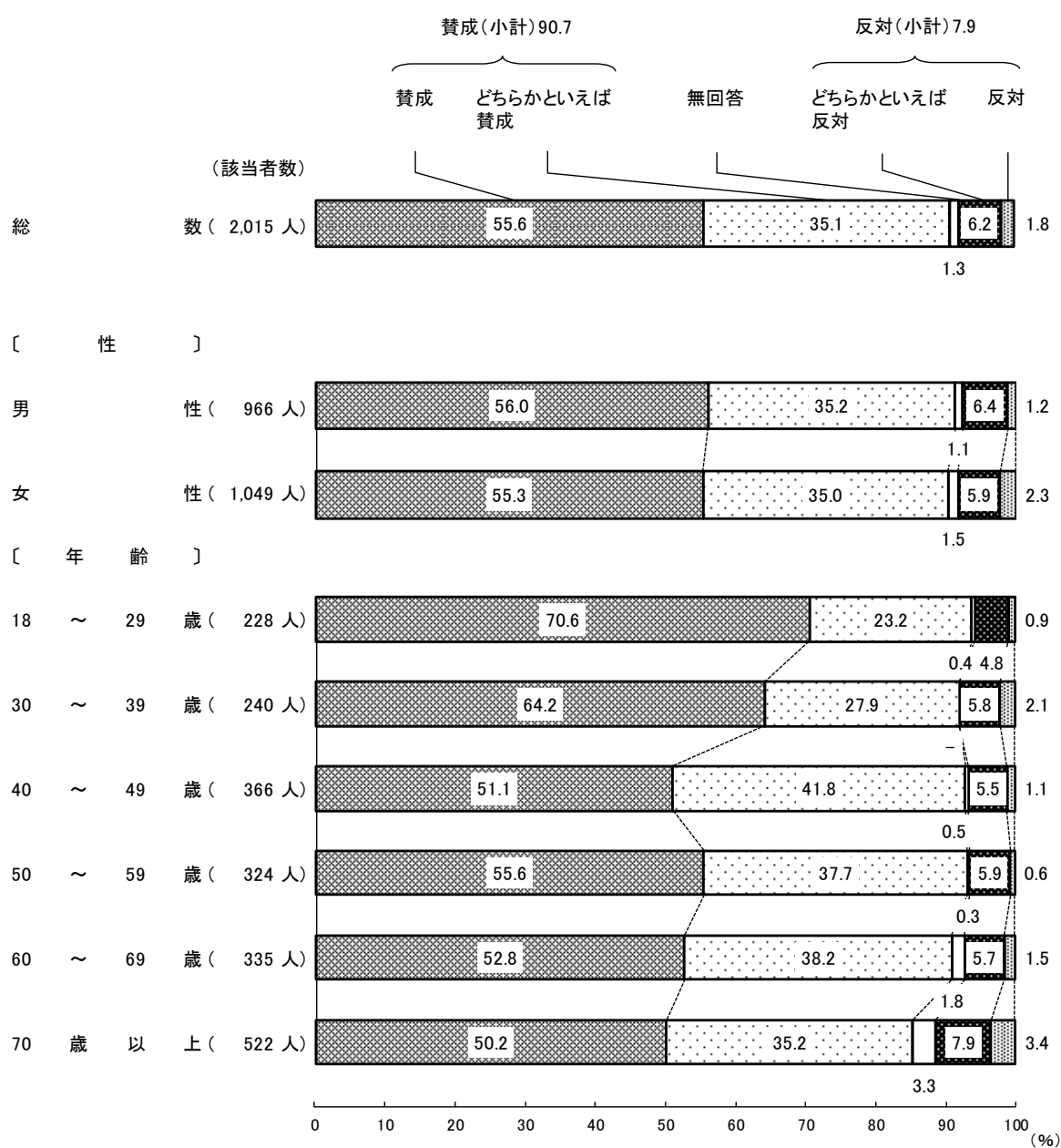


表10－参考 周囲の人の許容度

	該 当 者 数	賛			反			わ か ら な い
		(小計) 成	賛 成	ど ち ら か と い え ば 賛 成	(小計) 対	ど ち ら か と い え ば 反 対	反 対	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成27年12月調査	1,653	84.5	52.3	32.2	10.6	7.8	2.8	4.9

(注) 平成27年12月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(5) 安全に利用するための留意事項の認知度

問 11 あなたは、公共交通機関や公共施設などでベビーカーを安全に利用するうえで次のような留意事項があることを知っていましたか。(〇はいくつでも)

(上位 5 項目)
令和 2 年 10 月

- ・ ベビーカーに子どもを乗せる際にはシートベルトを着用する 57.6%
- ・ 電車やバスなどの車内や駅のホーム、バス停でベビーカーを止めている間は、ベビーカーから目を離さず、ストッパーをかけ、手を添える 56.2%
- ・ ベビーカー使用時に駆け込み乗車をしない 56.2%
- ・ 周囲の人や通行者と接触したり、移動の妨げにならないようにするなど、ベビーカーの操作に気をつける 53.6%
- ・ 通路やバス乗降時の段差のつまずきや、ホームと車両の隙間に注意する 51.0%

(複数回答)

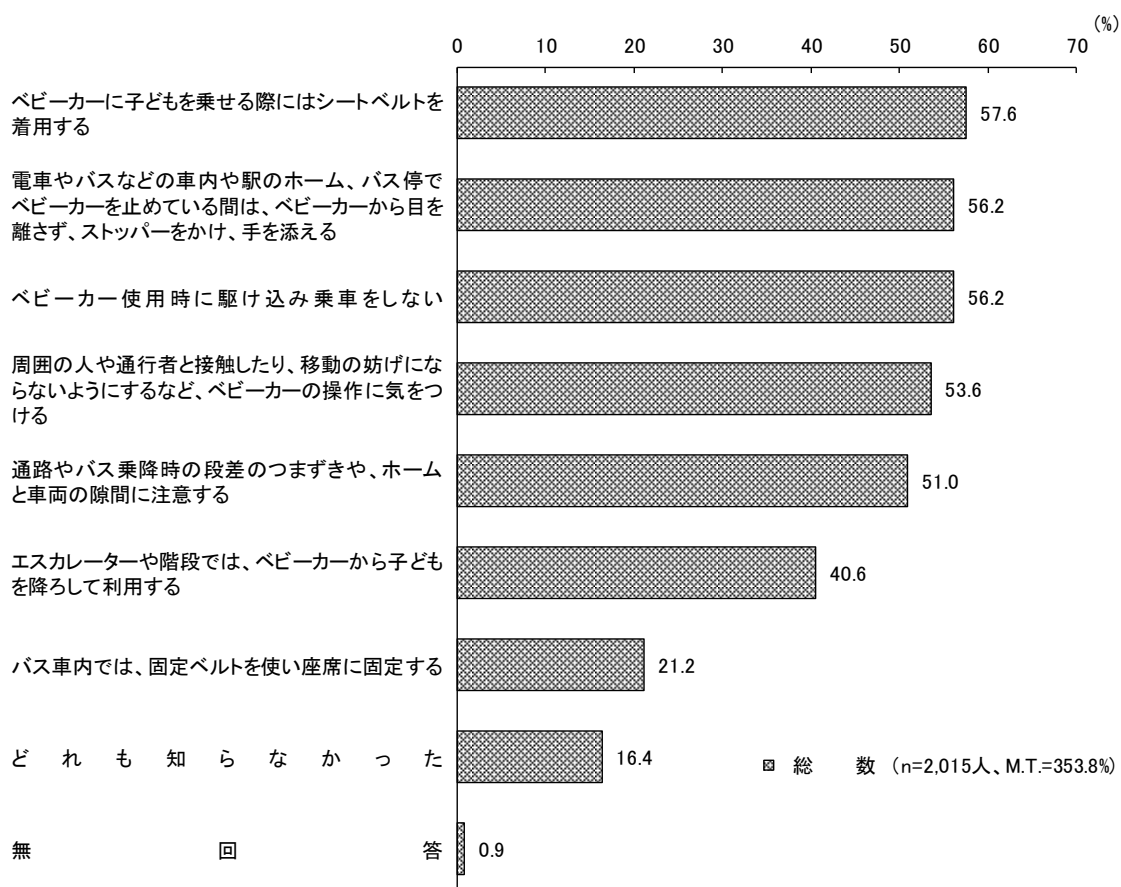


表11－参考 安全に利用するための留意事項の認知度

(複数回答)

	該 当 者 数	ベ ビ ー カ ー に 子 供 を 乗 せ る 際 に は シ ー ト ベ ル ト を 着 用 す る	ベ ビ ー カ ー 使 用 時 に 駆 け 込 み 乗 車 を し な い	電 車 や バ ス な ど の 車 内 や 駅 の ホ ー ム 、 ベ ビ ー カ ー か ら 目 を 離 さ ず 、 ス ト ッ パ ー を か け 、 手 を 添 え る	周 圍 の 人 や 通 行 者 と 接 触 し た り 、 移 動 の 妨 げ に な ら な い よ う に す る な ど 、 ベ ビ ー カ ー の 操 作 に 気 を つ け る	通 路 や バ ス 乗 降 時 の 段 差 で の つ ま ず き や 、 ホ ー ム と 車 両 の 隙 間 に 注 意 す る	エ ス カ レ ー タ ー や 階 段 で は 、 ベ ビ ー カ ー か ら 子 供 を 降 ろ し て 利 用 す る	バ ス 車 内 で は 、 固 定 ベ ル ト を 使 い 座 席 に 固 定 す る	ど れ も 知 ら な か っ た	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成27年12月調査	1,653	43.4	38.2	38.1	37.4	31.5	27.7	20.1	32.0	2.6	271.0

(注) 平成27年12月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(6) ベビーカーマークの認知度向上のための取組

問 12 あなたは、ベビーカーマークの認知度を向上させるために、どのような取組が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

	(上位4項目) 令和2年10月
・ テレビや新聞などを通じた周知活動	68.6%
・ 公共施設や公共交通機関を通じた周知活動	68.3%
・ 保育園、幼稚園、学校などの子育て・教育機関を通じた周知活動	53.2%
・ 商業施設や飲食店を通じた周知活動	41.0%

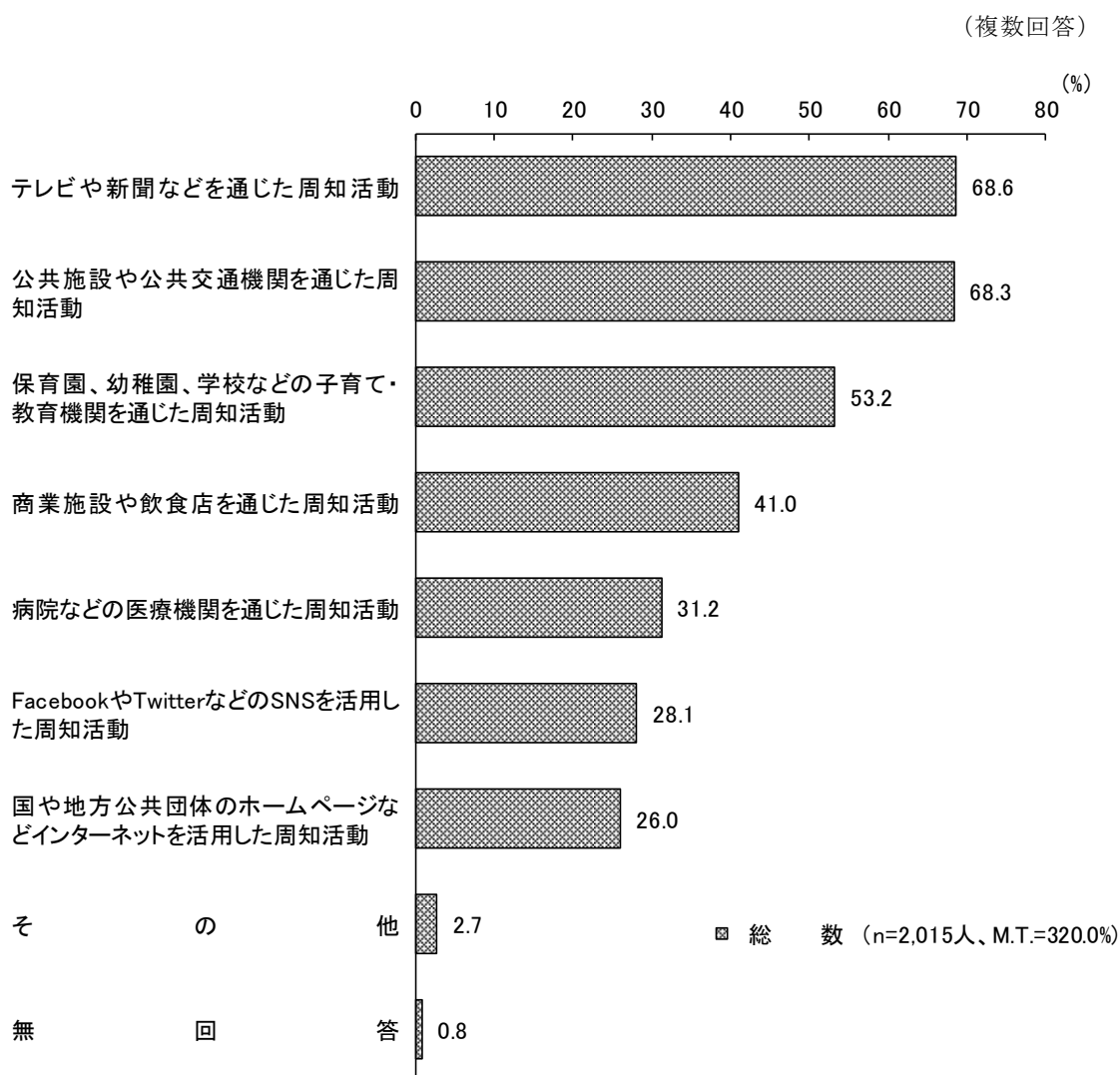


表12-参考 ベビーカーマークの認知度向上のための取組

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビや新聞などを通じた周知活動	公共施設や公共交通機関を通じた周知活動	保育園、幼稚園、学校などの子育て・教育機関を通じた周知活動	病院などの医療機関を通じた周知活動	商業施設や飲食店を通じた周知活動	国や地方公共団体のホームページなどインターネットを活用した周知活動	フェイスブックやツイッターなどのソーシャル・ネットワークワーキング・サークル(SNS)を活用した周知活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成27年12月調査	1,653	76.9	49.6	41.7	31.9	31.3	24.2	24.2	0.1	3.6	3.0	286.6

(注) 平成27年12月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(7) 環境整備のために重要な施策

問 13 あなたは、電車やバスなどでベビーカーを利用しやすい環境を整備するために、どのような施策を進めることが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
令和2年10月

- ・ 公共施設や公共交通機関におけるベビーカー専用スペースなどの設置 67.5%
- ・ ベビーカーマークの掲出場所の拡大 56.0%
- ・ ベビーカー使用者の危険行為（エスカレーターでのベビーカー使用、
駆け込み乗車など）に対する規制 46.5%
- ・ 各種広報媒体を通じた周知活動の実施 40.9%

(複数回答)

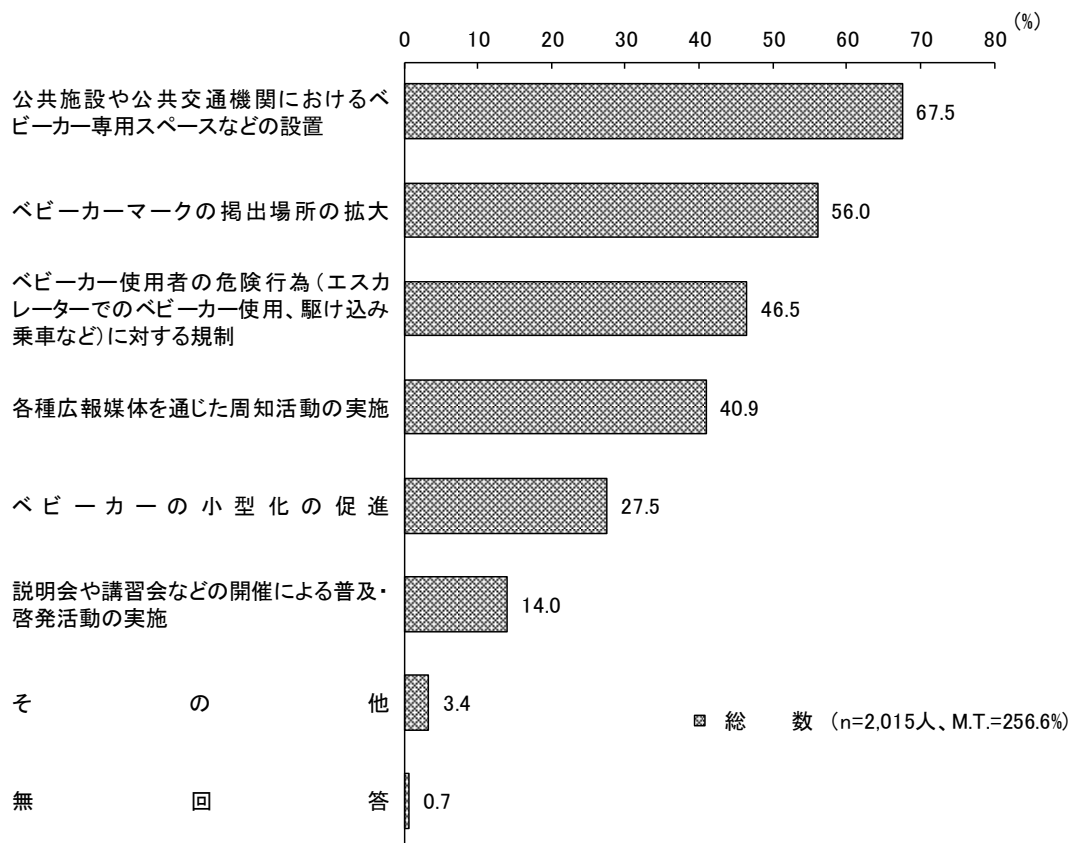


表13-参考 環境整備のために重要な施策

(複数回答)

	該 当 者 数	公共施設や公共交通機関におけるベ ビーカー優先スペースなどの設置	ベビーカーマークの掲出場所の拡大	各種広報媒体を通じた周知活動の実施	ベビーカー使用者の危険行為（エスカ レーターでのベビーカー使用、駆け込 み乗車など）に対する規制	ベビーカーの小型化の促進	説明会や講習会などの開催による普 及・啓発活動の実施	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成27年12月調査	1,653	55.3	47.7	36.8	36.8	24.7	17.1	0.8	4.3	5.0	228.6

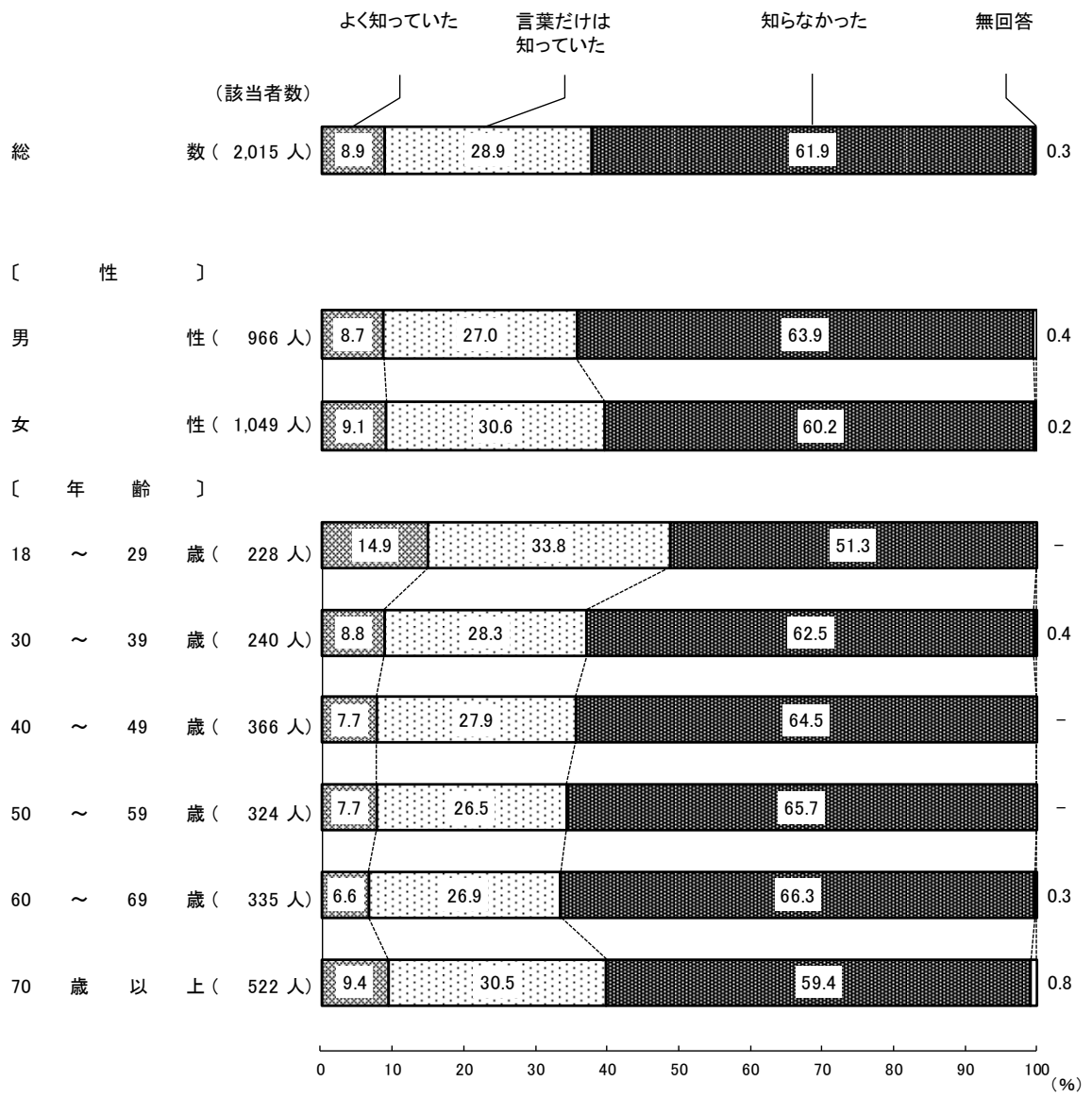
(注) 平成27年12月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

4 心のバリアフリー
 (1) 心のバリアフリーの認知度

(資料3を提示して、調査対象者に読んでもらってから質問)
問14 あなたは、「心のバリアフリー」について知っていましたか。(〇は1つ)

令和2年10月

- ・よく知っていた 8.9%
- ・言葉だけは知っていた 28.9%
- ・知らなかった 61.9%

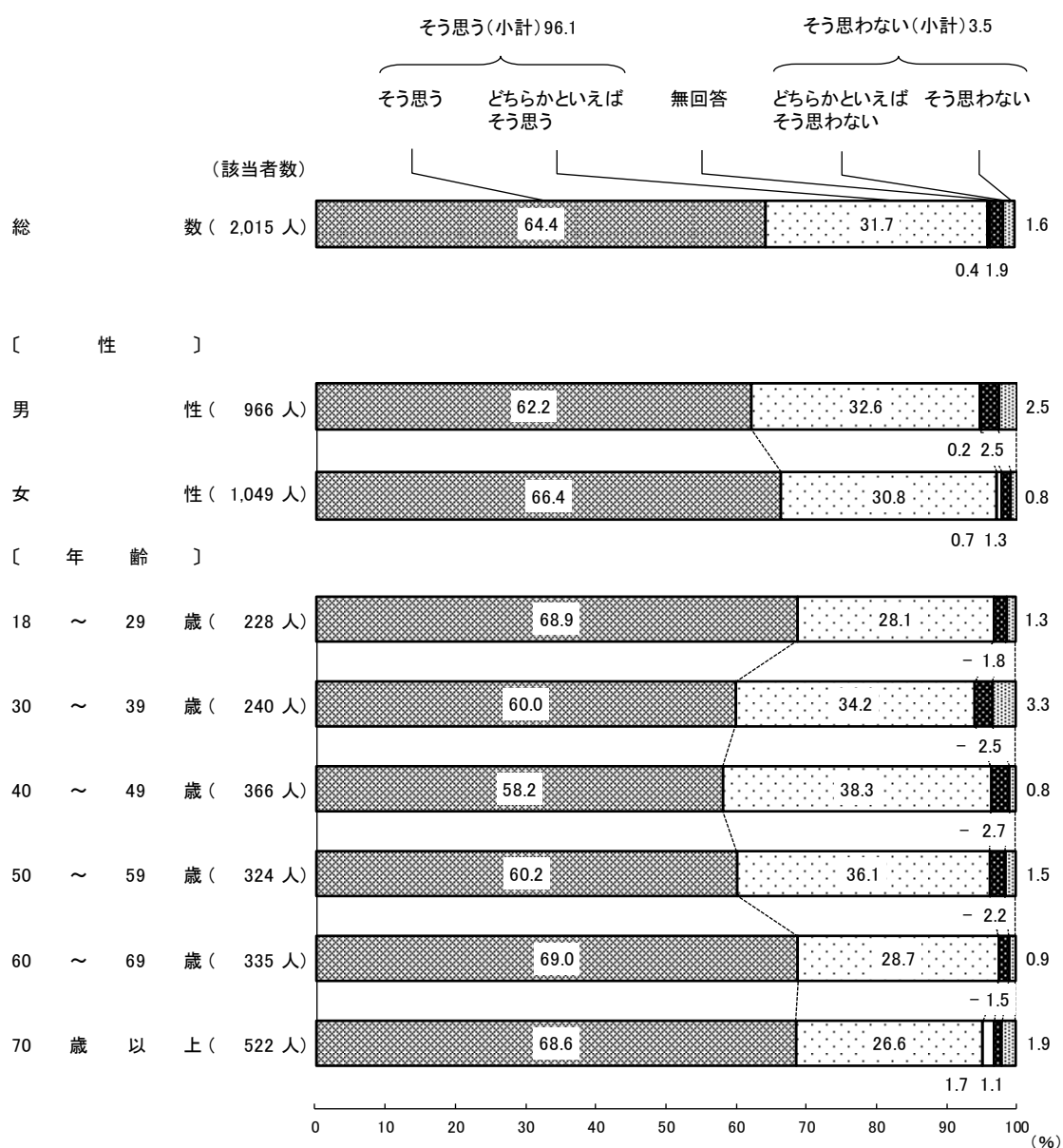


(2) 心のバリアフリーが必要か

問 15 あなたは、「心のバリアフリー」の考え方が一人でも多くの方に広まり、すべての人々がお互いに心身の特性や考え方を理解し支え合うことが、公共交通機関を利用した移動を円滑化するために必要だと思いますか。(〇は1つ)

令和2年10月

そう思う (小計)	96.1%
・そう思う	64.4%
・どちらかといえばそう思う	31.7%
そう思わない (小計)	3.5%
・どちらかといえばそう思わない	1.9%
・そう思わない	1.6%

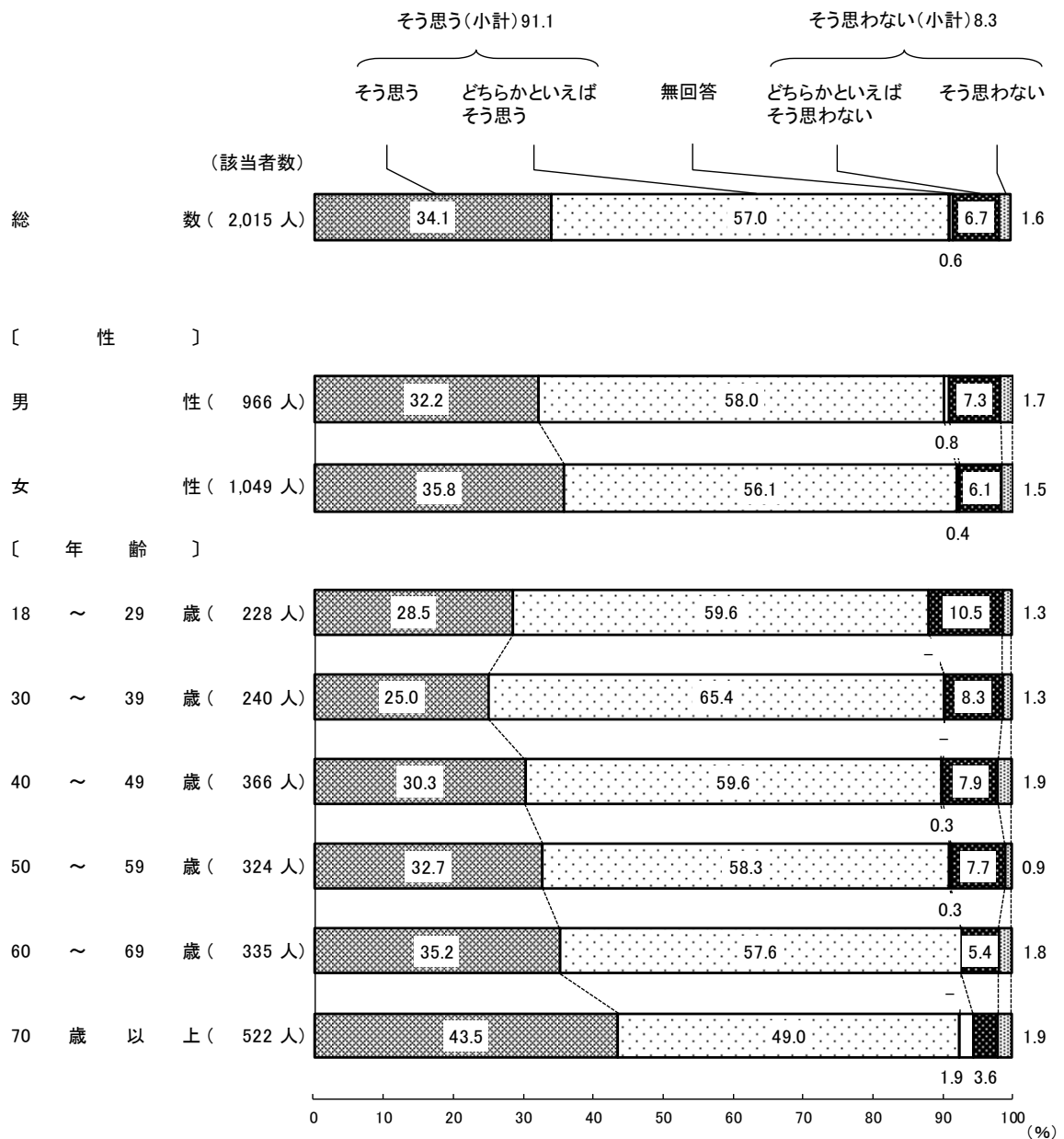


(3) 理解して行動できているか

問 16 あなたは、公共交通機関を利用する際、高齢者、障害者、妊産婦などの特性や考え方を理解して行動ができていると思いますか。(○は1つ)

令和2年10月

そう思う (小計)	91.1%
・そう思う	34.1%
・どちらかといえばそう思う	57.0%
そう思わない (小計)	8.3%
・どちらかといえばそう思わない	6.7%
・そう思わない	1.6%



(4) 普及させるための取組

問 17 あなたは、公共交通機関における「心のバリアフリー」の考え方を広めるために、どのような取組が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位 5 項目)
令和 2 年 10 月

- ・ 学校などでの教育 68.7%
- ・ テレビ・ラジオでの啓発活動 61.5%
- ・ 車内や駅構内などでのアナウンスやポスターでの啓発活動 61.4%
- ・ 新聞・雑誌での啓発活動 36.5%
- ・ インターネット (Facebook や Twitter などの SNS を含む) での啓発活動 33.7%

(複数回答)

